

第 16 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

令和 2 年 11 月 20 日（金）午後 3 時 30 分

<総合政策部長>

11 月 19 日に愛知県の新型コロナウイルス感染症に対する警戒レベルが、「警戒領域（イエロー）」から「厳重警戒（オレンジ）」へ引き上げられた。市内の感染者数も 11 月に入り増加傾向で、13 日以降 7 日間連続で発生し、昨日 19 日は 12 人の感染が確認されたことから、対策本部会議を開催する。

1 最近の状況について

<危機管理監>

11 月 19 日の記者会見で愛知県知事は、第 3 波が本格的にやってきたと認識せざるを得ない状況にあり、緊張感を持って対策を取っていただきたいと述べられた。

一宮市も 11 月 19 日には 12 人の感染者が確認され、厳しい状況と認識している。

2 愛知県「厳重警戒」への一宮市の対応について

<総合政策部長>

各職場に、改めて感染防止対策の見直しを徹底するよう指示した。

町内会や地域づくり協議会へは、非接触型温度計や消毒液を 12 月中旬に届くよう準備を進めている。

市民活動支援センターは、9 月 19 日以降定員まで利用可能。マスク着用、名簿の確認等対策を徹底しこれまで通りとする。施設内には「厳重警戒」のポスター等の掲示をして、しっかり PR していきたい。

<危機管理監>

各部署で机等の消毒に使用する次亜塩素酸水の配布を今後も継続する。

感染者数の駅コンコースへの掲出を 11 月 17 日から再開した。県の警戒レベル引き上げをさまざまな手段で周知している。

<市長>

将来、愛知県の警戒レベルが「危険」になったときのことも今から検討し、すぐに対応できるよう最悪のシミュレーションを行い、備えておくように。

今般、県が「厳重警戒」にレベルを引き上げたことで、直ちに市のイベント等を中止することは無いようだが、各部署での対応方針は、どのような状況か？

<教育長>

修学旅行は、直近の情報を収集した上で休日も含めた連絡体制を確認し、非常に危険という状況になれば、いったんとりやめという判断も協議しながら行っていきたい。

<こども部長>

12 月に公立保育園の保護者参観行事を計画していたが中止する。1 月～3 月の保護者参観行事も状況によるが、中止の方向で考えている。

<経済部長>

駅ビルについては、自主的判断によるキャンセルについて、キャンセル料をとらないことについて検討している。

催事については、「危険」レベルになればやめざるを得ないと考えている。

<教育文化部長>

各施設に愛知県の「厳重警戒」の注意喚起の掲示とコロナ対策のいっそうの徹底を指示した。

11 月 21 日からの 3 連休中のイベントは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、実施の方向。それ以降は、場合により中止も検討する。

<まちづくり部長>

138 タワーのライトアップについて、イルミネーションイベント期間中は、いまのままとするが、展望階の 1 階に駅コンコースと同じ感染者数の掲示を行うとともに来場者には場内アナウンスで周知を行いたい。

<環境部長>

エコハウスとゆうゆうのやかたについて、施設の閉鎖は、さらに警戒レベルがあがり県独自の緊急事態宣言が出されてからと考えている。現在は、可能な対策を徹底したい。

<福祉部次長>

いきいきセンターやつどいの里は、今まで通りの営業を考えているが、一段と厳しい状況になれば休館も視野に入れなければならないが、講師がおりコントロール可能な事業については、なるべく継続したい。

<消防長>

出初式について、市民にも周知するか、来賓のみにするかを検討している。

<病院事業部長>

陽性者は、保健所が濃厚接触者として捕らえている人からが多い。普通に生活すれば良いと思うが、3連休は勝負となりそう。今後も情報は関係部署に必ず早め早めに共有する。

<副市長>

「厳重警戒」とはいえ、8月の第2波よりは緩みがあるのではないか。警戒レベルが「危険」になったときに何をするのかよく考えておき、各施設で連絡を密にして準備する必要がある。

2 市長方針・指示

<市長>

第1波・第2波での経験から各部署の対応力はレベルアップしているはず。基本に忠実に自信を持って、これまで行ってきたことを振り返りながら、臨んで欲しい。情報の共有や報告・連絡について、緊急の場合は、特に悪い話ほど早く行うように。